

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 ( 13-11 )

団体名	特定非営利活動法人 ふぉーらいふ	代表者名	(職名) (氏名) 理事長 中林 和子
事業名	家庭が居づらい子ども・若者の居場所作りと支援体制作り		

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」 「毎〇曜日」等 で記入	場所	参加者 一般(スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
4月1日～ 2/29日	事務所	10 (158)	毎月曜・木曜の週2回居場所開所(79回)
10月30日	尼崎市役所	(2)	尼崎市役所 情報共有
12月5日	尼崎市ユース交流センター	(2)	尼崎市ユース交流センター 視察・情報共有
12月12日	認定特定非営利活動法人 Learning for All 尼崎 支店	(2)	認定特定非営利活動法人Learning for All 尼崎支店 視察・情報共有
2月3日	西脇てとて広場	(1)	西脇てとて広場 視察・情報共有
2月15日	神出学園	(1)	神出学園 視察・情報共有

< 効果と成果 >

居場所を必要とする子ども・若者がそれぞれの家庭の状況に左右されないよう、負担なく居場所を利用できる体制ができた。昨年度は関係機関から対象者がつながることが多かったが、今年度は対象者の周囲の方々から問合せや相談があり、少しずつではあるが周知されつつあることがわかった。

また、今年度からスタートしたアウトリーチは、直前でキャンセルになってしまったものの、依頼の問合せがあるなど、居場所利用のハードルが高い対象者にとってニーズがあることがわかり、今後も継続して行う必要性を感じた。

まだ十分には対象者に行き届いていないが、実際に居場所を知ってくれた利用者が、「こんな居場所があることを知れて良かった。また来たい」と話してくれるなど、家庭や学校ではない居場所だからこそその役割があると感じた。

< 今後の展望 >

家庭に居づらい子ども・若者を対象にしているので、自分のやりたいことや好きな事をしてもらいたいとの意味で、開設当初より居場所のプログラムを敢えて「ない状態」にしていた。しかし、活動を続けていると「活動のイメージができない」「広報面で難しい」といった意見や、「やる事が決まっている方が過ごしやすい子もいる」といった関係機関の方からのアドバイスもあり、来年度からは大枠でのプログラム(学習時間やご飯を食べる時間等)の作成を検討していく。

また、現在は対象を「家庭に居づらい子ども・若者」としていながら、SNS等の広報を行っていたが、広く周知することでスティグマとなり、居場所を利用しづらい可能性がある。そこで、事業の広報については、関係機関への周知のみにする等、検討していく。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	500,000
自己資金	1,000
合計	501,000

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	人件費	245,000	245,000
	ボランティア報償費	88,000	88,000
	消耗品費	82,347	82,347
	その他(ボランティア交通費等)	45,928	45,928
	小 計	461,275	461,275
	間接経費(一般管理費)	39,725	38,725
	合 計	501,000	500,000